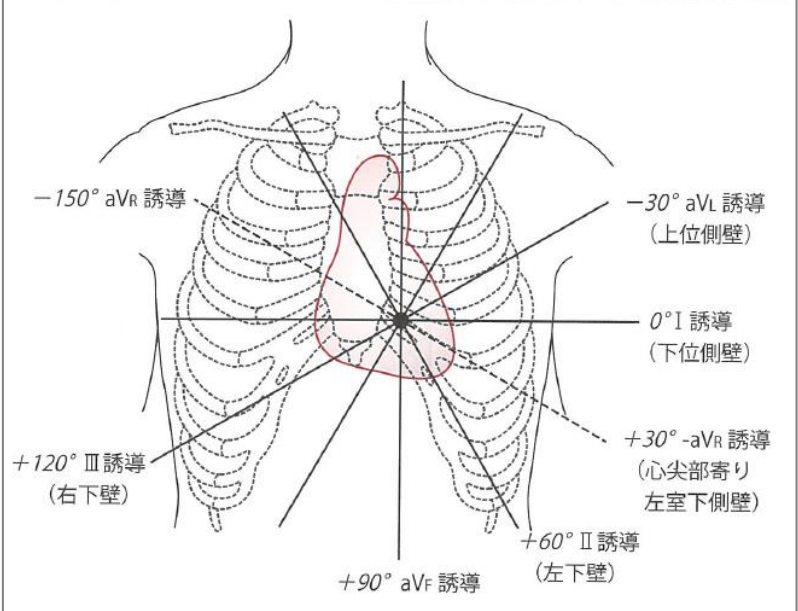
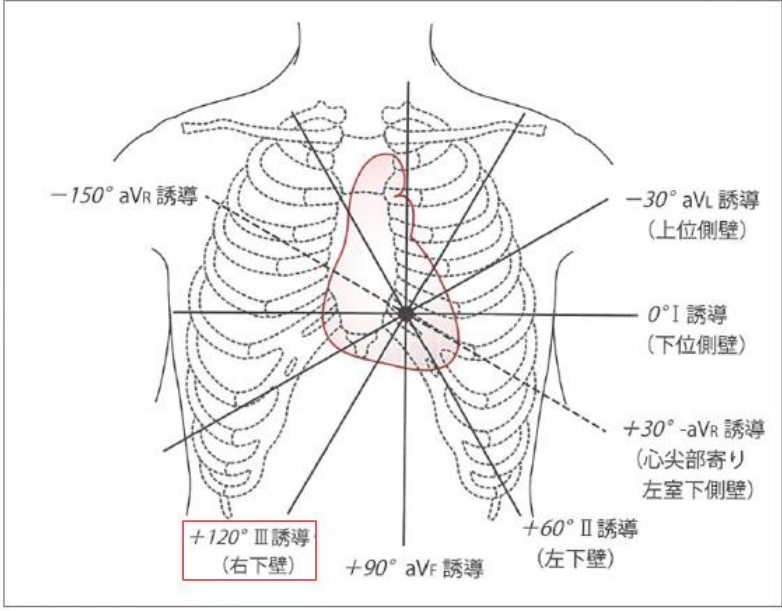
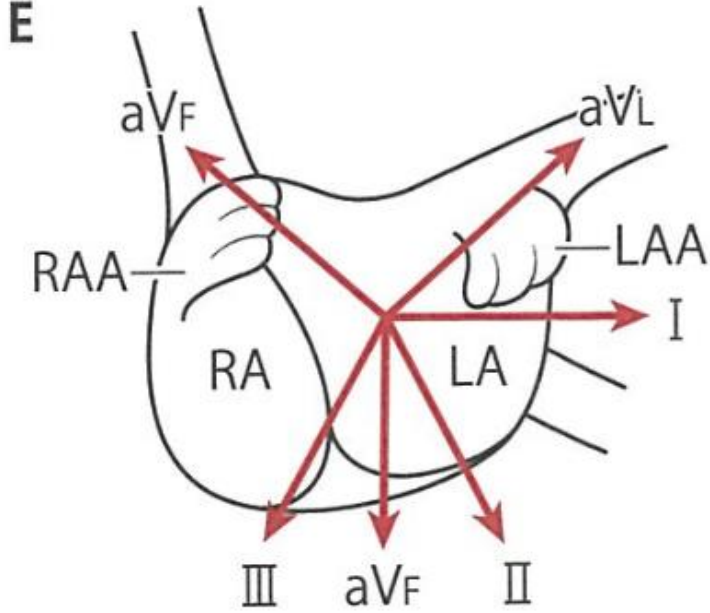
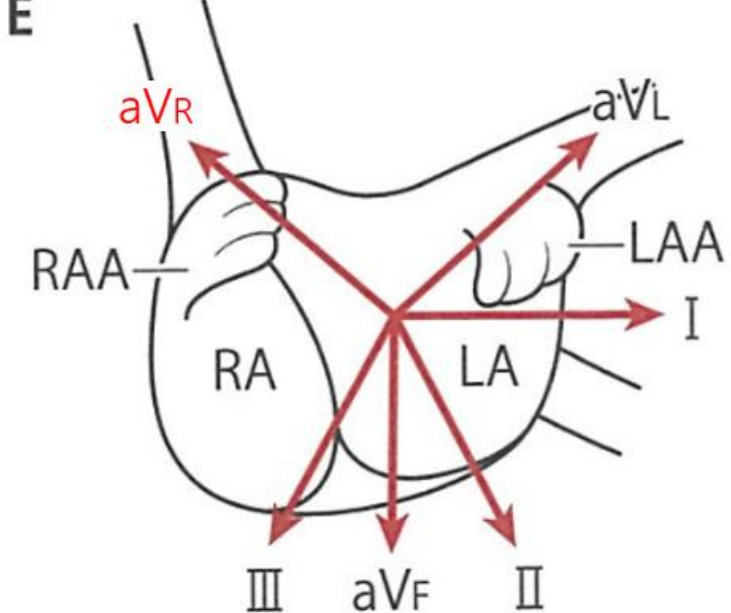


正 誤 表

「循環器科の心電図 ECG for Cardiologists (第1刷)」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
75	図4の図説	PVCおよびRCCからのペーシング波形は、V ₃ 誘導のR/S比が1未満 (R波が高い) である。RVOTからのペーシングでは、V ₃ 誘導のR/S比が1以下 (R波が低い) である。	PVCおよびRCCからのペーシング波形は、V ₃ 誘導のR/S比が1以上 (R波が高い) である。RVOTからのペーシングでは、V ₃ 誘導のR/S比が1以下 (R波が低い) である。
124	column 図 「+120° III誘導 (右下壁)」の位置		

128	文中 「Wellens症候群と はなにか」の解説 計5箇所	Type A	Type B
128	文中 「Wellens症候群と はなにか」の解説 計4箇所	Type B	Type A
129	図1の図説	無症状時にV ₂ ~V ₄ 誘導に深い陰性T波 (Type A) を認める	無症状時にV ₂ ~V ₄ 誘導に深い陰性T波 (Type B) を認める
159	図2中 (図2・E)		
196	文中 (下から9~8行目)	濃度依存性にI _{K1} チャンネルが活性化しK ⁺ イオンが細胞内に取り込まれるため	濃度依存性にI _{K1} チャンネルの透過性が増し外向きのK ⁺ 電流が大きくなるため

2021年7月16日
株式会社 南江堂